

添付資料

外部評価委員会による評価結果報告について

外部評価委員会による評価結果

1 日本の産業医学の中核になる産業医の育成について

大学院教育、あるいは医工連携、企業との連携を活発に行っていく中で、産業医としての専門家、特に日本の産業医学の中核になるような産業医の育成を是非これからも続け、さらに発展させていただきたい。

2 大学院の産業衛生学専攻、看護学専攻の設置について

大学院に産業衛生学専攻、看護学専攻のコースを具体的に設置することについては、産業医科大学らしい大学院専攻をつくることを前提に発展させていただきたい。

3 専門家を育てる体制について

(1) 産業医学、産業保健の実践をする医師、研究者の養成については、大学卒業後、一定期間実務に就いた後で大学へ戻って研究をされる方々も含めて、全国から希望者を受け入れる体制づくりに努力してほしい。また、医工連携あるいは企業との連携をさらに活発に推し進めていただきたい。

(2) 専門家を育てるための経済的なサポートについては、産業医学は国にとって重要な領域であり、多方面から行政に対する働きかけを進めて、有為な人材に教育あるいは研究の場を与える上での配慮を一層進めていただきたい。

4 産業医学、産業保健に対するニーズの把握について

産業界で産業医学、産業保健に対するニーズが変化する状況に対して、大学としてニーズを的確に把握し、ニーズに対応する形で研究あるいは教育を進めていくことが非常に重要である。全国から優れた、有為な若い人たちを集める上でも不可欠であるので、是非お願いしたい。

5 国際交流の進展

国際交流の領域においては、東南アジアあるいは他の国からの留学生を受け入れるだけでなく、専門家を外国に派遣する事業も是非積極的に進めていただきたい。